

第 6 章 林 業

概 況

府下の森林地帯の大部分は、隣接府県境沿いの周辺部に存在し、その森林地帯の大部分は温帯林に属しており、大別して北摂、生駒、金剛、葛城、和泉の5地域に分けることができる。

これらの森林地帯には「あかまつ」の天然林が各所に見られ、また、落葉広葉樹林も全域に見られるが、特に北摂地域に多く分布している。

人工林についてみると、「くろまつ」が葛城、和泉地域に多く見られ、北摂、金剛、葛城地域の一部には「すぎ」、「ひのき」が多く分布している。これらのうち金剛、葛城地域の「すぎ」、「ひのき」は、府下で最も集約的な林業が営まれている。

林野面積

府下の林野面積のうち、国有林野面積と官行造林面積は前年と変わらず、それぞれ1,043haと223haである。民有林野面積は前年より2ha減少し5万6,921haとなった。

それぞれの大阪府総面積18万6,686ha（昭和59年10月1日現在）に占める割合は、国有林野面積が0.6%、官行造林面積が0.1%、民有林野面積が30.5%で、府下の林野の大部分は民有林野である。

民有林野のうち、立木地は前年より100ha減少して5万4,135haとなった。これは民有林野面積の95.1%を占めており、その内訳は人工林が2万5,682ha（構成比47.4%）、天然林が2万8,453ha（同52.6%）となっている。また、樹種別内訳は針葉樹が3万9,380ha（構成比72.7%）、広葉樹が1万4,755ha（同27.3%）となっている。

民有林野面積を市町村別にみると、能勢町が最も多く

7,808ha（構成比13.7%）であり、次いで河内長野市が7,388ha（同13.0%）、高槻市が4,542ha（8.0%）となり、この3市町で34.7%を占めている。これらの各市町の民有林野面積と構成比は前年と全く同じである。

林野蓄積量

府下の林野蓄積量については、国有林野蓄積量と官行造林蓄積量は前年と変わらず、それぞれ12.1万m³と6,500m³である。民有林野蓄積量は前年の493.8万m³から5.1万m³（1.0%）減少して、488.7万m³となっている。

民有林野蓄積量のうち、人工林は301.1万m³（構成比61.6%）、天然林は187.6万m³（同38.4%）である。また、樹種別内訳は針葉樹が434.7万m³（構成比89.0%）、広葉樹が54万m³（同11.0%）となっている。

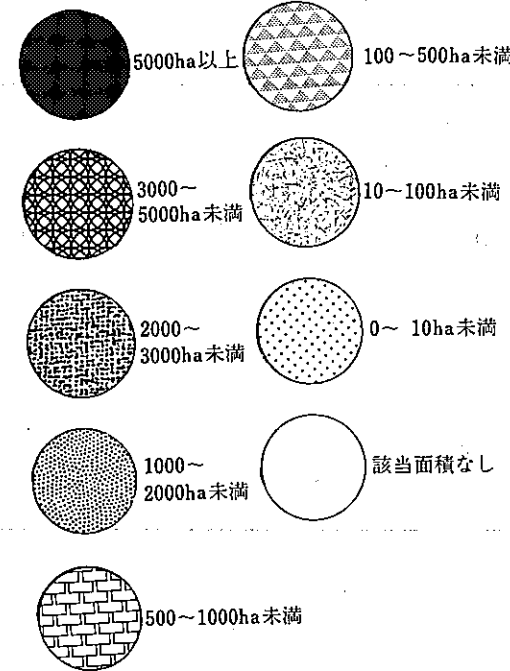
民有林野蓄積量を市町村別にみると、河内長野市が最も多く100.1万m³（構成比20.5%）であり、次いで高槻市が43.2万m³（同8.8%）、能勢町が42.7万m³（同8.7%）となり、この3市町で38.1%を占めている。

苗木生産量

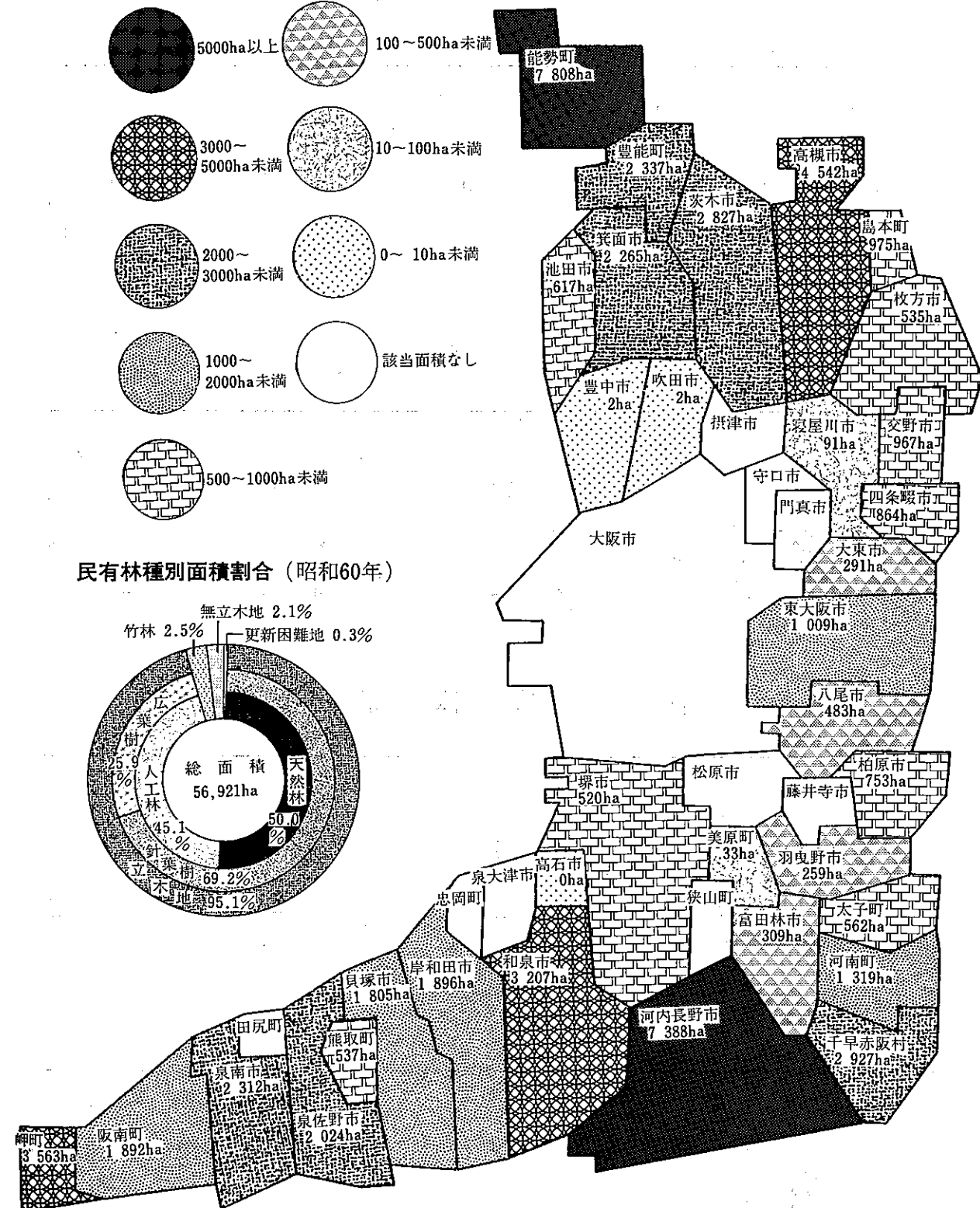
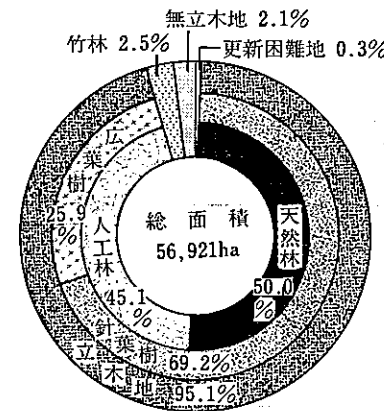
山行造林用苗木の生産量は2年連続して減少し、前年の108.3万本から1.8万本（1.7%）減の106.5万本となった。樹木別にみると、「ひのき」が最も多く93.1万本（構成比87.4%）であり、次いで「すぎ」が9.4万本（同8.8%）、「くろまつ」が3万本（同2.8%）、「あかまつ」が1万本（1.0%）となっている。

他府県への林産物移出量は2.5万m³であり、移入量（外材舎）は104.3万m³であって、移出量は移入量に比べ微々たるものである。

市町村別民有林森林資源面積（昭和60年）



民有林種別面積割合（昭和60年）



第 1 表 国有林野面積

1) 各年 4 月 1 日現在。4 月 1 日現在有効の地域施業計画書及び森林調査簿を基として作成。
2) 第 1 種、第 2 種、第 3 種とは、国有林野経営規程第 9 条の地種の区分のことである。

Table with columns for year, total area, and sub-categories of forest types (立木地, 無立地, 除地).

資料 大阪営林局「大阪営林局事業統計書」

第 2 表 国有林野蓄積

1) 各年 4 月 1 日現在。第 1 表項注参照。

Table with columns for year, total volume, and sub-categories of forest types (立木地, 竹林, その他).

資料 大阪営林局「大阪営林局事業統計書」

第 3 表 官行造林面積

1) 各年 4 月 1 日現在。4 月 1 日現在有効の「公有林野等官行造林施業計画書」により作成した。

Table with columns for year, total area, and sub-categories of forest types (林, 除地, 計画外地).

資料 大阪営林局「大阪営林局事業統計書」

第 4 表 官行造林蓄積

1) 各年 4 月 1 日現在。第 3 表項注参照。

Table with columns for year, total volume, and sub-categories of forest types (林, 除地).

資料 大阪営林局「大阪営林局事業統計書」

第 5 表 市町村別、民有林種別森林資源面積

1) 森林法第 5 条の規定による地域森林計画対象民有林のみであって、実査及び抽出調査により算出されたものである。
2) 該当面積のない地域は省略した。

Large table with columns for city/town/village, total area, and sub-categories of forest types (立木地, 竹林, 無立木地, 更新困難地).

資料 大阪府農林部緑の環境整備室

第 6 表 市町村別、民有林種別森林資源蓄積

1) 各年3月末現在。
2) 第5表(項法1)、2)参照。

Table with columns for city/town/village, total forest area (km²), and forest types (artificial, natural, bamboo). Rows include various regions like 三島地域, 豊能地域, and municipalities like 堺市, 岸和田市, etc.

資料 大阪府農林部緑の環境整備室

第 7 表 製材用素材消費量及び製材用途別出荷量

1) 「推定素材生産量及び木材需給動態」によるものである。

Table showing lumber consumption and output by purpose. Columns include year, material consumption (total, by use), and output (total, by type). Rows for years 1955-1959.

資料 近畿農政局大阪統計情報事務所「大阪農林水産統計年報」

第 8 表 山行造林用苗木生産量

1) 府営、森林組合から各年中の実績について提出された「種苗生産報告」をまとめたものである。

Table showing mountain造林 seedling production by species. Columns include year, total seedlings, and production by species (sugi, hinoki, akamatsu, kurumatsu). Rows for years 1955-1959.

資料 大阪府農林部緑の環境整備室

第 9 表 林産物素材生産及び移出入量

1) 「木材需給報告書」によるものである。

Table showing forest product material production and movement. Columns include year, production by species, and movement (output, input). Rows for years 1955-1959.

資料 大阪府農林部緑の環境整備室

